

No. 6-2

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 06 - 2

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日 28年 5月 23日				
事務事業名		一般ごみ収集事務				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち				課名	環境防災課	係名	環境資源係	
		4-1 環境と共生するまちをつくる				シート作成者				
	施策	4-1-1 循環型社会の形成				予算費目	会計	一般		
		① ごみ収集・処理体制の充実					款	4		
主要施策							項	2		
						目	1			
個別計画名										
住民との関わり		特になし								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民		ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを委託業者により収集する。 平成27年度 可燃ごみ 4,109 t 不燃ごみ 165 t プラスチックごみ 252 t 一般ごみ収集委託料 40,306,680円 一人当たり 16,089円 27年度桑名広域清掃事業組合負担金（建設分） 107,694,000円 （管理分） 236,464,000円							
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
根拠法令・要綱等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		398,999		404,956		386,928				
財源内訳	国庫支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	地方債		0		0		0			
	その他特定財源		12,065		12,991		13,353			
	一般財源		385,416		390,447		372,057			
直接事業費（千円）A		397,481		403,438		385,410				
人件費（千円）B		1,518		1,518		1,518				
内訳	一般職員（人・千円）		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518			
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0			
成果指標	成果指標名		単位		27年度		28年度		29年度	
					目標		実績		（目標）	
	① ごみ収集量		t		4,450		4,894		4,604	
	②									
③										
説明		ごみ分別やりサイクル事業の啓発をより一層行い、ごみに対する住民意識の向上を図る。								

事業名		一般ごみ収集事務		シート作成課		環境防災課		
一次評価者		環境防災課長		二次評価者		生活部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ごみの分別収集やリサイクルは、今後もより一層きめ細やかに実施していく必要があります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域住民のごみの分別・リサイクルの意識向上を図ることにより、ごみ減量化が期待できます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ごみの出し方については、概ね適切に排出されています。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	委託することにより、人件費の削減・業務の迅速化が図られ、住民サービス向上が期待できます。	
本事務事業の実施適切性の説明								
ごみ分別やりサイクル事業の啓発をより一層行い、ごみに対する住民意識の向上を図ります。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	3	(8) <u>B</u> 8 (7) 5 (6) D C (2) (5)(6) (8)		
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続 拡大		
今後の改革・改善目標	平成29年度以降のRDF焼却・発電事業については県が事業主体となって32年度まで継続が決まったのを受けて、33年度以降のごみ処理について桑名市、木曾岬町の1市2町で新ごみ処理施設建設事業を進めています。地域別による拠点回収と個別回収の現状について検討する必要があります。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	3	(8) <u>B</u> 8 (7) 5 (6) D C (2) (5)(6) (8)		
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続 拡大		
コメント	機会あるごとにごみ総量の減量、分別のPRが必要。今後の財政運営が厳しくなる中、地域別の回収方法について考える必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				